

B—3 愛知県女子大学学生の体型について (第2報)

金城学院大短大 ○佐藤 貞子
岩瀬 ひろ
益田貴美子

1. 金城学院大学女子学生の体型を把握する目的で、35項目の身体計測を行ない、そのうち主として胸部における周径・横径・矢状径に関する実測値を用い、胸部形態について、考察を行なってみた。

2. 被検者は、金城学院大学短期大学部女子学生19歳、104名・20歳、93名である。計測項目は、胸部・胴部・腰部における周径・横径・矢状径並びに肩峰幅の実測値及び実測値を用いて算出した周径相互の差・横径相互の差並びに胸部・胴部・腰部の扁平率、合計19項目である。

3. (1) 19歳の胸部の形態と20歳とを比較すると、20歳の方が胸のふくらみがやや大きく、いわゆる胴のくびれた体型のようである。(2) 東京における某大学の女子学生と比較すると、今回の成績は、胸部・胴部においてやや厚みがあり、腰部ではやや扁平のようである。(3)

(a) 胸囲との相関については、肩峰幅に関する項目をのぞくすべての項目において、19歳は20歳より僅かながら相関が高いので発達の上にあるものと思われる。

(b) 「胸部矢状径」「胸囲-胴囲」「胴部矢状径」「腰囲」「胴囲」の対胸囲相関係数は、一般に高いので、胸囲を用いて、これらの身体部位に対応する衣服寸法を算出することができるものと思われる。